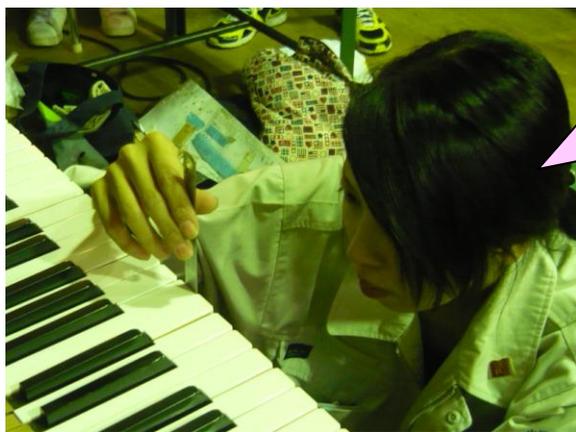


中部楽器技術専門学校 ピアノ調律科2年生 リビルド合宿 レポート 2012年 10月15~19日 速報

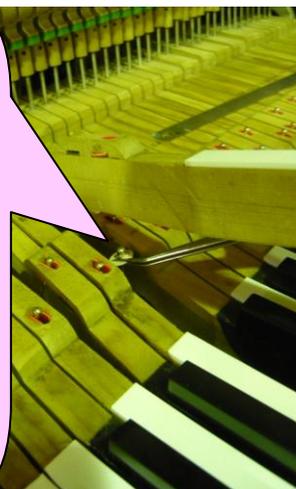
最近では中古ピアノが多く市場に出回っています。それらを修理・再生させる技術が不可欠となり、調律師の仕事としてニーズが高まっています。本校のピアノ調律科では、三重県湯の山にある研修センターで合宿を行ない、**中古ピアノの再生(リビルド)技術**に磨きをかけています。この合宿は春と秋の2回にかけて実施しています。今回の合宿では、整調(鍵盤の弾き心地を整える作業)を中心に行ない、最後にリビルドし終えたピアノの品評会を行ないました。



鍵盤の高さと水平を揃え、スムーズな動きにして、弾きやすいタッチを作っています。



白鍵の下にバランスペーパーパンチングを入れて、高さを調整しています。



定規を使い白鍵の傾きを確認しています。

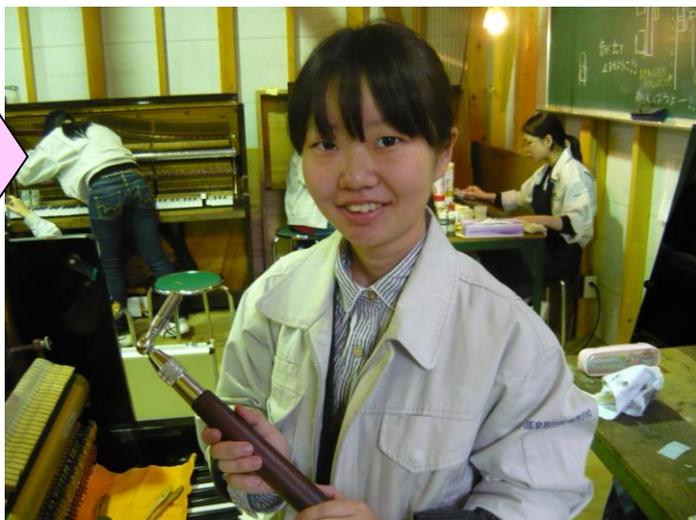


正常な動きと演奏性を高めるために、鍵盤の沈む深さを調整しています。この調整には、あがき定規を使います。



学生コメント
「弾きやすいタッチを作るため、鍵盤の高さを調整していますが、細かい作業なので集中力を持続させながら取り組んでいます。」

学生コメント
「調律では、一台のピアノを一つの響きにするのが難しいですが、しっかりと音を聞きながら作業しています。」

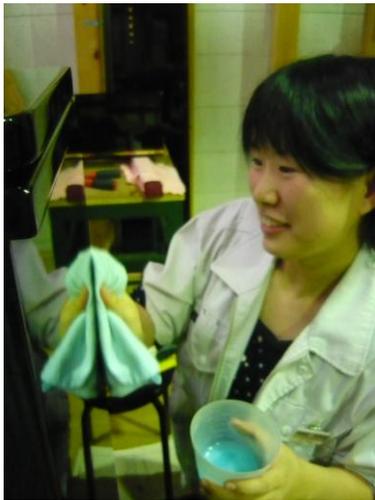




ダンパーが弦に当たる加減によって、音が止まらなかったり、止まりすぎたりするので、調整は大切です。



ダンパーレギュレータークランクを使いダンパー（止音装置）を調整していきます。
学生コメント
 「微調整が難しいので、特に力加減に注意しています。」



外装磨きを行ないました。
学生のコメント
 「ワックスをかける時は、ワックスの量や力の入れ具合で、輝きが変わるので力任せに磨かないように考えています。」

最後には、リビルドを終えたピアノの品評会を行いました。自分たちでチェックするポイントを考え、それに対するコメントを書いています。



品評会記入用紙			
機番	製造番号	塗装	鍵盤
106731	黒/ラッカー	外装のキズ 1500. コーデ消しペン キズ多 上蓋の側面削れ 鍵盤の角ムシ	金属部 180度磨き 53の210
363125	黒/ラッカー	指板の凹凸 全体的にキズ多	鍵盤 鍵盤の奇にな アールきれ
328235	黒/ラッカー	上前のやけ 板木の削	鍵盤 上蓋 木



ピアノ調律科
丸山先生

先生ウォッチング!! 今回の合宿の目的・ねらいや学生の成長などを担当の先生にインタビューしました!!

Q. 今回の合宿の目的やねらいは?

A. 中古ピアノの査定から作業完了までを学ぶのが目的です。楽器業界では、中古ピアノの再生技術の必要性が増しており、その技術を学ぶことがねらいです。

Q. 合宿を通して学生はどうでしたか?

A. 時間を意識して作業計画を立てることができるようになり、ピアノの見た目の美しさに加え、音やタッチの大切さを再認識するようになりました。また、グループで作業を行うため、自分の役割に責任を持ち取り組んでいました。今回の経験を通して、さらに成長し、就職に役立つことを期待しています。